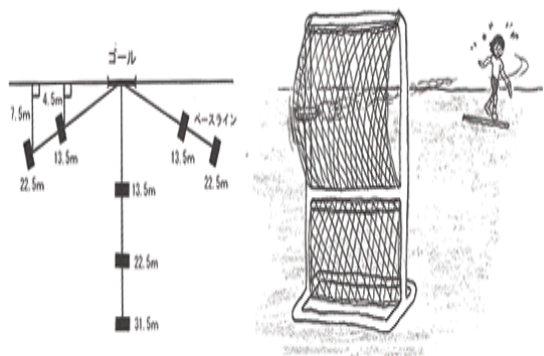


ニュースポーツ等の紹介

● アクュラシー



「アクュラシー」は、フライングディスク(通称:フリスビー)の競技種目のひとつです。一辺 1.5m の正方形の枠をアクュラシーゴールとし、3 方向、7 ヶ所から各 4 投します。合計 28 投を7分間の競技時間に行い、アクュラシーゴールの通過数を競います。

● アトラックゲーム



「アトラックゲーム」は、ビッグサイズの輪投げです。投球位置とポールの距離は5m、1セット5個の投球リングを1ラウンドに連続投球します。1ラウンド毎に相手のプレイヤーと交代し、5ラウンド繰り返します。得点は1ラウンド毎に記入し、5ラウンドの合計で、勝敗を競います。1投球単発で入れば1点、2投球連続で入れば3点、3投球連続で入れば6点となりますが、5投球中全て単発で入った場合は3点にしかありません。3連続で入れば6点となります。

● インディアカ



「インディアカ」は、羽根の付いた特殊なボール(「インディアカボール」と呼びます。)を手で打ち合う、バレーボールタイプのスポーツです。ボールに付いている羽根は小さいボールの耐久時間を長引かせ、狙った方向に真っすぐ飛ばす事が出来るため、意図した方向にゆっくりでも、速いスピードで飛ばす事も出来ます。性別・年齢・体力を問わず誰にでも容易に出来、楽しみながら体を鍛える効果も十分期待できるスポーツです。

● カローリング



「カローリング」は、氷上で行うカーリングをフロアで手軽にできるように考えられたスポーツです。

フロアコートで、1チーム3人のプレイヤーが6個のジェットローラを、コートの先端にある直径90cmのポイントゾーンに向け、相手チームのプレイヤーとジェットローラを交互に走行してぶつけ合い、得点を競うゲームです。

色は、赤・黒・黄・緑・青・橙の6色。ポイントゾーンには直径90cmの円形が中心から赤(3点)、黄(2点)、青(1点)の3色カラーで印刷されています。

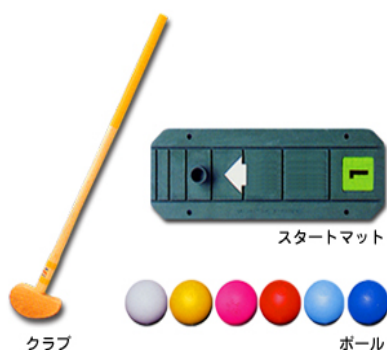
● キンボール



「キンボール」は、直径122cm、重さ1kgのアドバランのような巨大なボールを床に落とさないようにチームで協力しあう競技です。

1チーム4人の3チームで、サーブやレシーブを繰り返して得点を競い合います。

● グラウンド・ゴルフ



「グラウンド・ゴルフ」は、専用のクラブ、ボール、ホールポスト、スタートマットを使用して、ゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールポストにホールインするまでの打数を競います。また、ホールインワンもあり、自分の合計打数から3打マイナス出来るという特典もあります。

場所によって、ホールポストの数や場所を自由に設定することができ、ルールも簡単なため、高齢者はもちろん児童生徒等幅広い層で手軽に楽しむことができます。

● クロリティ



「クロリティ」は、アメリカの”ホースシュー”と日本の伝統的な”輪投げ”をミックスして作られた最新の輪投げ競技です。この競技の特徴は、リングが目標棒に入らなくてもリング(輪)の一部がベース(得点版)内であれば得点となり、次のプレーヤーの機転で、すでに投げられた味方リングを有利にしたり、相手リングを不利にしたりできるのが面白いところです。特に専門的な知識が必要なく、ルールも簡単なので子どもから高齢者に至るまで、誰でも楽しむことができます。

● ゲートボール



「ゲートボール」は、2チーム対抗の団体ゲーム。1チーム5名で、自分のボールをスティックで打ち、第1ゲート、第2ゲート、第3ゲートを順番に通過させ、最後にゴールボールに当てると上がりとなります。

● シャッフルボード



「シャッフルボード」は、細長いコートの上で、ディスク(円盤)を「キュー」と呼ばれるスティックで押し出し、「ダイアグラム」と呼ばれる得点盤上に到達させてその得点を競う競技です。力を必要としないので、子どもから高齢者に至るまで誰でも楽しむことができます。

● スカイクロス



「スカイクロス」は、布製の輪を投げてコーンに入れる、ゴルフと輪投げを合わせた競技です。中央に輪投げ用の大きな穴が空いたリングの円盤を投げて競います。各コースの最後に行う輪投げの目標になりますが、一般には高さ約 30cm の円錐状のものを uses。公園や草むらなどの屋外や、室内でも手軽に楽しめます。

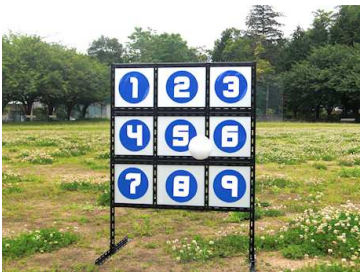
● スカットボール



「スカットボール」はボールをスタートラインからスティックで打ち、得点板の穴に入れて得点を競うゲームです。

室内でも屋外でも四方の平らなスペースがあればどこでも設置でき、どなたでも楽しむことができるスポーツです。

● ストラックアウト



「ストラックアウト」は、3×3配置の9枚のパネルを投球で打ち抜く競技です。投球距離を男女年齢別に設定し、幼児から大人まで遊べます。

スポーツガラッキー



「スポーツガラッキー」は、起き上がりこぼしのダーマと呼ばれる円錐形で中空のボールを投げ合っている陣取りゲームです。ダーマの弾みや転がりを計算に入れて狙った場所で止めなければなりません。ダーマの予想外の動きに笑いや歓声が起こる愉快的なスポーツです。

● スポーツチャンバラ



「スポーツチャンバラ」は、「エアソフト剣」と称する空気を入れた棒状の剣を使って、安全に戦うチャンバラです。ルールは簡単で、短刀・長剣など大小さまざまな武器で打ち合っている。相手の体のどこかを十分な威力で打てば勝ちです。従来の武道のように形式に縛られた堅苦しい面は無く、自分の発想を自由に活かして戦えます。また、受身などの事前訓練も必要ないので、誰でも気軽に楽しむことができます。

● ターゲットバードゴルフ



「ターゲットバードゴルフ」は傘を逆さにしたようなネットに、ゴルフボールにバドミントンの羽をつけたボールをゴルフクラブで打ち、打数の少なさを競うスポーツです。ゴルフクラブは、一般ゴルフ用ウェッジクラブ1本のみを使用します。

● 卓球バレー



「卓球バレー」は、1チーム6人ずつ、計12人が普通の卓球台を座って囲み、ラケットの代わりにかまぼこの板のような長方形の板で、通常より高く上げたネットの下を、金属が入った音が鳴るボールを転がして打ち合います。ラリーは3打以内に相手コートに戻します。

重い障がいがある人も一緒に楽しく体を動かせる競技となっています。

● チュックボール



「チュックボール」は、弾力のあるネットに、ボールをシュートしあうゲームで、ハンドボールによく似たスポーツです。ただ、シュートをしただけでは得点ならず、ネットからはね返ったボールを、守備側がダイレクトにキャッチしなければいけません。キャッチに失敗すれば、シュート側の得点となります。相手チームへの妨害も一切禁じられているため、球技に不慣れな方でも楽しむことができます。

● 綱引き



「綱引き」は、2つのチームが一本の綱を両側から引き合って、その優劣を競うスポーツです。団体戦であること、ルールが単純明快であること、またチーム分けによって力量の配分などに公正化が図りやすいこともあり、世界的にも広く親しまれています。その反面、高度化したものではテクニックや戦略といった要素も多分に絡み、競技としての奥深さも存在します。

● ティーボール



「ティーボール」は、飛んでくるボールを打つのではなく、バッティングティーと呼ばれる細長い台にボールを置き、止まっているボールをバットで打って遊ぶスポーツです。置いてあるボールを打つため、初心者でも簡単にヒットすることができ、野球やソフトボールの入門者にうってつけのスポーツです。

● ディスクゴルフ



「ディスクゴルフ」は、フライングディスクを投げ、ゴルフコースを模した小型のコースで、専用ゴールに何投で投げ入れるかを全 18 ホール(または 9 ホール)のトータルスコアで、いかに少ない投数で入れられるかを競います。ゴールはバスケット型で、上部の鎖にディスクが当たると、下のバスケットに落ちる仕組みになっています。運動量が少なく、年齢や性別に関係なく楽しめるスポーツです。

● ディスゲッター



「ディスゲッター」は、誰でも手軽に楽しめるフライングディスク版「ストラックアウト」です。パネルめがけてディスクを投げ、何枚の板を落とすことができるかを競います。

● ドッチビー



「ドッチビー」は、ウレタンとナイロンを使用した高い安全性を持ったディスク「ドッチビー」を使ったドッジボール形式のスポーツです。ボールではなくディスクを使用するため、腕力や体格の差が出がたく、年齢性別問わず多くの方が一緒に楽しめます。

● パークゴルフ



「パークゴルフ」は、使用する道具は、専用のクラブ 1 本とボール 1 個それにティーがあれば誰にでもプレーを楽しむことができる簡単なスポーツです。クラブでボールを打ち、カップインするまでの打数を競い合うスポーツです。

● バウンドテニス



「バウンドテニス」は、ラケットボールを原型にし、テニスと同様のルールで、狭い場所でも手軽にでき、しかも運動量も十分にあるスポーツとして、昭和 55 年に考案されました。「バウンド」とは、ボールがよく“弾む”(バウンド)こと、“限られたスペース”でできる(バウンダリー)ことに由来しています。コート大きさが 3m × 10m、ネットの高さが 50 cm で、テニスコートの 1/6 の大きさでプレーします。

● ビーンボウリング



「ビーンボウリング」は、ピンを倒さずに、反転させて点数を競う簡易ボウリングで、現在の室内ゲームで大型機械化されたボウリングを、ピン配列を工夫し、横に並べ簡便化したスポーツです。コントロールやバランスを競うゲームで、体格や体力に関係なく、老若男女誰でも楽しめます。

● ファミリーバドミントン



「ファミリーバドミン」は、バドミントンの羽根にスポンジボールを付けたシャトルを、持ち手の短いラケットを使い、3人対3人で打ち合います。手のひら間隔でシャトルが打て、さらにスポンジボールに羽根が付いていることでスピードが抑えられ、初めての人でもラリーが続きやすく、みんなが楽しめるスポーツです。

● フライングディスク



「フライングディスク」はプラスチック製の円盤上のディスクのことで、一般にはフリスビーという名称で呼ばれることもあります。キャッチボールのように投げあっても楽しめ、距離を競う種目や、コントロールの正確さを競う競技としてのスポーツでもあります。

● フリーテニス



「フリーテニス」は、テニスコートの10分の1程度のコートで行えるミニテニス的一种です。ボールはソフトテニスのボールを小さくしたようなものを用い、ラケットは卓球のラケットをひとまわり大きくしたようなものを用います。テニスに比べラケットが短く、コートが小さいため、年齢・性別を問わず、誰もが気軽に参加できます。

● フロアカーリング



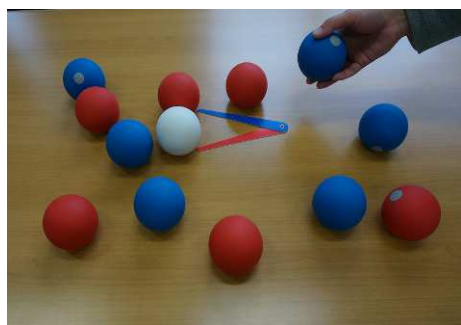
「フロアカーリング」は、木製のターゲット(緑色)を的にキャスター付きの木製のフロッカー(赤色・黄色)を送球し、得点を競うもので、ルールも簡単。子どもからお年寄りまで、男女を問わずだれでも手軽に楽しめるニュースポーツです。

● ペタンク



「ペタンク」は、コート(ラテン)上に描いたサークルを基点として木製の目標球(ビュット)めがけてぶつけ、金属製のボール(ブール)を投げ合って相手より近づけることで得点を競うスポーツです。

● ポッチャ



「ポッチャ」は目標球（ジャックボール）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを、投げたり転がしたり、他のボールに当てたりして、白いボールにいかに近づけるかを競います。

老若男女、障がいのあるなしに関わらず、全ての人と一緒に楽しめる競技です。

● ボンクエ



「ボンクエ」は、バドミントンとバレーボールが一緒になったようなスポーツです。プラスチックのラケットとスポンジのついた羽でプレーします。

● ユニカール



「ユニカール」は、オフシーズンでも楽しめるように、氷上ではなくカーペットの上でできるカーリングとして考案されました。専用カーペット上でプラスチック製のストーンを滑らせ円形の目標地点により近づけることを競うスポーツです。ルールも簡単なため初心者でもすぐに楽しめます。

● ユニホック



「ユニホック」は6人1組のプレーヤーからなる、2チームによってプレーされます。スケートを履かずプラスチック製の柔らかなスティックと、プラスチック製のボールを使用し、スティックでボールを打ち合い相手のゴールに入れて得点を競うという、分かりやすい競技です。

安全性を高めたミニホッケーの一種で、体育館でプレーできます。

● ラージボール卓球



「ラージボール卓球」とは、ボールとラケットを使って打ち合うスポーツで、卓球とほとんど変わりありません。特徴としては、ボールサイズを大きくし、ネットが高いこともあり、高度な技術がなくてもラリーが続き、初心者から高齢者まで楽しむことができます。

● ラケットテニス



「ラケットテニス」は、バドミントンコートを使い、ソフトなボールまたはスポンジボールと軽くてグリップの短いラケットを使用するスポーツです。ルールは硬式テニスとほぼ同じです。

体力に自信がない方にも、十分に楽しんでいただける生涯スポーツです。

● ミニテニス



「ミニテニス」は、バドミントンコート(ダブルス用)を使用し、ラケットはテニスラケットを小さくしたもの、ボールはビニール製の大きなものを使用します。ネットは高さ1mで、サーブ、レシーブともに必ず1バウンドしてから打ちます。

● モルック



「モルック」は1～12の番号の付いた木製のピン(スキttl)とスキttlから3～4m離れた所に、木の棒(モルック)を投げる位置を示すモルッカーリ(なくても良い)を配置します。2チーム以上で対戦し、モルックをスキttlめがけて投げて倒れたスキttlの内容によって、50点ピッタリなるまで得点した方が勝ちになります。50点以上になってしまった場合、スコアは25点に戻ります。

● 輪投げ



「輪投げ」は、得点版の棒にいくつの輪を投げ入れることが出来るかを競うゲームです。点数の数え方や投球回数などのルールを理解し、作戦を立てながら行えば、味わいの深いゲームとなり、子供から高齢者まで楽しむことができます。